

8/21 早

# 中高生ワクチン優先枠

## 現役世代 夜間接種も

県、来月から

若年層や現役世代の新型コロナワクチン接種を進めるため、県は九月から中高生が優先的に接種できる枠や夜間接種体制を県営の集団接種会場に設ける。

二十日に県庁で開かれた「ルパプラス」(福井市)で、中高生優先枠を九月四日～十一日まで、夏休み中に十八歳のワクチン接種を進めた。二日までの土・日曜日(各日六十人)について、県は、「めよう」と八月十四日～二十日(一回目)の日程で、(長谷川寛之)

福井市内の病院で接種が受けられるようとした。九月以降の接種体制として学校が休みの土・日に設定した。併せて県職員の職場接種会場としている県議事務所(同)でも十二歳～おおむね三十歳代を対象にして

北鉄・教育長は「感染防止を徹底して一学期の学校活動を再開する」と答えた。部活動は県外校との練習試合や合宿は控え、感染者が出て臨時休校となつた場合はオンライン学習に切り替える」となどの感染対策を挙げた。

仲倉典克議員(県会自民党)は



県議会は二十日、全員協議会で新型コロナワクチン接種拡大防止のため県独自の緊急事態宣言期間が九月十二日まで延長することについて県側から報告を受けた。飲食店関係の感染者数は宣言前より減少しており、営業時間短縮の効果が出ていることが示された。

西本恵一議員(公明党)や田中三津彦議員(県会自民党)の質問に窪田裕行・健康福祉部長が説明した。家族や会社など不要不急でない接触を除いた感染者のうち飲食店の割合は宣言前(七月二十日～八月五日)が42・1%で、宣言後(六日～十九日)は42・1%と減少した。

県独自の緊急事態宣言について説明を受け、質問する議員ら=

20日、県議会全員協議会室で

## 飲食店由来 76%→42%

## 時短営業で感染抑制効果

夏休み明けの学校活動については豊北鉄・教育長は「感染防止を徹底して一学期の学校活動を再開する」と答えた。部活動は県外校との練習試合や合宿は控え、感染者が出て臨時休校となつた場合はオンライン学習に切り替える」となどの感染対策を挙げた。

仲倉典克議員(県会自民党)は

「(すでに感染拡大した場合)次は、

まん延防止等重点措置となる。その目安は」と質問し、杉本達治知事は「病床がステージ4となって一週間、十日と続く」と県としてもまん延防止等重点措置の適用をお願いする」となるとした。(長谷川寛之)

接種希望者を受け入れる。

接種日は九月七日～十月一日までの火・木・土曜日。

県内に住民票があり、県外に進学している学生に向けて接種相談を受ける窓口も

八月二十三日から設ける。

現役世代の接種率向上に向けエルバプラスで午後六時～七時半の夜間接種を行つ。一回目の接種日は九月四日～十一日の土・日曜日(各日・五人)。

中高生優先枠と夜間接種(いずれもモデルルナ社製ワクチン)の予約は八月二十一日午前九時から開始。県のホームページで予約できる。